

## 「近海カツオ一本釣り」日本一位の 第83佐賀明神丸を町が表彰

第83佐賀明神丸が昨年の漁期において、近海カツオ一本釣りの水揚げ高が日本一位を達成したことを受け、町の水産振興に貢献したとして1月17日(火)、町から表彰状および記念品が送られました。

明神水産は11年連続の1位。また、明神学武漁労長は2年振り10回目の日本一位となりました。

明神漁労長は、「絶対に釣れるという保証がないまま毎年海に出ているため、たくさん釣れたことは素直に嬉しく思う。最近はカツオの動きに一貫性がないと感じる。動きを予測するのは難しいが、今年は去年よりたくさん釣りたい」と話しました。



明神漁労長(左)と松本町長(右)

## カツオ一本釣り漁船が佐賀港を出港

今シーズンのカツオ一本釣り漁のスタートに向け、2月中旬よりカツオ一本釣り漁船が佐賀港を出港しました。

2月16日(木)には、昨シーズン、近海カツオ一本釣りの水揚げ高で日本一位を達成した第83佐賀明神丸などが出港しました。

同船の明神学武漁労長は、出港直前「今年にはカツオの動きがよく見えるので、たくさん釣りたい」と思っています。今年も日本一位をめざしていききたい」と意気込みを語りました。



出港する第83佐賀明神丸



出港を見送る人々

見送りに来た船員の家族らは、「頑張ってくださいね」など、応援の言葉を送っていました。

## 大方高校生徒が入野小児童へ 防災出前授業

1月24日(火)、大方高校地域創造コース2年生7名が、入野小学校5年生24名に対し、防災出前授業を行いました。

同授業は、災害時の避難意識を高め、防災を支える次の世代を育成することを目的として行われたもの。

児童らは、高校生と一緒に「みんなが安全に避難するためにできることを考えよう」をテーマに、津波が起こって避難する際に困る人はどんな人か、地震が起きた時のために今私たちができることは何かなどを考えました。

大方高校の岡田祈織さんは、「みんな意見がしっかりしていて凄いな」と思った。防災について今後もしっかり学んで役立ててほしい」と話し、また、入野小学校の山下汐稀さんは、「津波のことがよく知れて良かった。少し緊張したけど、ちゃんと話すことができた。もし災害が起きたら、高齢者などのサポートをしていきたい」と話しました。



授業の様子

## 大方地域の小学校で食育活動

黒潮町農業委員会が主催する食育活動の一環として、地元で収穫できる食材を知り、食文化の理解を深めることや食べ物を大事にする気持ちを育むことなどを目的に、大方地域の小学校3校で調理実習が行われました。

1月27日(金)、田ノ口小学校の回では、同小児童や農業委員、関係者ら約30人で長さ15mの長巻寿司やサラダ、茶巾絞りなどを調理しました。

同小6年生の山下真ノ輔さんと松本翔太さんは、「地域の方と会話しながら作ることができて良かった。ご飯を丸めたり、全員で寿司を巻いたりできて楽しかった」と話しました。



寿司の具材を乗せる児童ら



寿司の具材を調理する児童ら

また、2月10日(金)には三浦小学校、2月21日(火)には南郷小学校でも同活動が行われました。